

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 8 日

仕 事 の 内 容	企画展示事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 4	
【施策名】 市民文化の振興	総 合 計 画 書 (ページ)	41	

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	郷土博物館費	事業 2	郷土博物館事業
-----	------	-----	-----	-------	-----	--------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	市の人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	歴史、文化に対する興味・関心を高める →	観覧者数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	寄贈いただいたひな人形の展示を中心に、関連イベントを開いた。 →	企画展示「ひなまつり」平成31年2月16日(土)~3月3日(日)実質開館日数14日間 関連イベント「おひなまさまになろう!」2月17日(日)、「おひなさまを作ろう」2月23日(土)、24日(日)

		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	86,044	85,857	85,698	/	/
	成果指標	②の数値	2,474 (2/18~3/5)	2,302 (2/17~3/4)	2,415 (2/16~3/3)	/	/
	目 標	②の目標値	2,240	2,520	2,380	/	/
	目標値設定の考え方		1日の平均観覧者が27年度184人、28年度176人、29年度164人の実績であり、30年度は170人を目標として算出した。				
	活動指標	③の数値	29	14	14	/	/

3 経費	事 業 費 (実績)		円	42,768	45,025	33,048	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財 源	一般財源	円	43,768	45,025	33,048	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人 件 費 (目安)	所要人数(再任用以外)	時	17.0	24.0	35.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	73,100	100,800	147,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	115,868	145,825	180,048		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	郷土の歴史、文化について興味関心を高め、心豊かな暮らしを送る。平成24年度に開始し、継続している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

仕 事 の 内 容	企画展示事業					
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係	課長名	高田匡章

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシが目立ってよかった。 ・展示が時系列になり、すっきりして見やすかった。 					
6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組んだ	取組手法	③事業協力			
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
ひな人形についての調査・展示準備・片付け・受付業務など幅広い業務に文化財ボランティア、展示品協力・各種イベント・受付業務を市民グループ「ばれっと」に協力いただいた。市との情報を最大限共有していくことで信頼感が生まれ、さらに効果的に業務を遂行できる。						
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	展示資料が多くなり、全てを展示しきれない状況になっている。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	全てを展示するのではなく、展示方法を工夫した。					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	前年と違う展示方法（展示の配置）を検討する。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	最近寄贈いただいた資料を優先し、時代やテーマに沿って展示資料を選択する必要がある。また、収蔵スペースに限りがあるため、寄贈の申し出があっても、新しいものはお断りするしかない状態となっている。					
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	テーマ設定の決定など。またその基準をどうするか。					
	(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	